

を除いては、北海道、宮城、京都、奈良、兵庫、鳥取、島根、岡山、香川、福岡等に見るが如く、一般には數量的にその組織は減退を示してゐる。

だが、その發展の餘地と可能性は充分に存在してゐる。

(ロ) 労働組合——に於ては、最も戰局的な傳統を持つ全國協議會(舊評議會)は全國的組織が未だ確立されたと云ひ得ず、殊にその中心は地下に追ひ込められて活動が極度に困難である。殊にその決定的な弱點は右翼組合の如く重要産業の大工場に強根が張られてゐないことである。従て最近各種の大争議に於ける左翼の指導權、影響力が減退し、甚だしきは沖電氣の如き唯一といつてよい程の重要な組織を、然かもストライキを通じて、失つて仕舞つたりした。そして自由労働者が實際上の中心を爲すといふが如き變則的狀態に陥つてゐる。その最大の原因は素より支配階級の彈壓と優秀な闘士の奪ひ去られたことに在るとは雖も現在その不況は否認すべくもない。

然かも、その合法性獲得の爲めの努力、及び農民との提携の熱意を抛棄してゐるやうにさへ見える。

だが、大阪金屬、大阪木材、全大阪、大阪市電自助會、關西電氣、大阪電氣、東京交通、京都染物、京都陶磁器、全小樽等々は各自發展の道を辿りつゝあるが、尙ほ確然と左翼的統一を完成せしむるに至つて居ない。

黨内デモクラシーの基礎の上に行動し得る確乎たる指導部を有してゐる。

斯して資本家地主の政府に對抗して無産階級の利益の爲に戦ひ得べき左翼陣營に於て、現在、わが黨のみ獨りその任務に堪え得べき組織と精神を有する陣營として存在するのである

## 第二節 我々の任務

一、以上の如き情勢に當面せる我々は不斷に被壓迫民衆の利益の剝奪と闘ひ被壓迫民衆の日常利益を擁護し之れを伸張しなければならぬ。

二、又被壓迫民衆の政治的自由に對する些細なる侵害と雖も之れと敢然と戦ひ被壓迫民衆の政治的自由を獲得しなければならぬ。

三、又戦争の危期と戦ひ被壓迫民衆を戦争の慘害から擁護しなくてはならぬ。

四、之れ等の任務遂行の爲めには主として以下數項の事業が敢行せられねばならぬ。即ち、未組織大衆を組織化して我等の影響の下に置き、やがてわれ等の闘争の原動力になるまで鍛え上げること。

五、青年の組織に成功すること。

六、借家人同盟、俸給生活者組合、消費組合、漁業労働者

(ハ) 新労働農民黨反對派——は左翼の力の包括的陣營たりし新労働農民黨の後身政治的自由獲得労働同盟の實體が舉つて新労働農民黨結成に向へる今日、尙ほ労働同盟を僭稱してゐるが内容全く空虚であり、階級的熱意を持つ分子を含んではゐるが、遺憾ながら大部分は工場に根を持たざる藝術家翻譯家の一群及び學生層を以て構成せられてゐる。

而して東京、横濱、名古屋等を除いては、實際上の闘争に直接關係しないものが多く、その指導は小ブル層によつてなされてゐる状態であり、殊に確乎たる全國的組織を有せず、到底、日常闘争を敢行するに堪へ得ない。

殊に注意すべきは、労働者農民の緊き同盟の必要に無關心を示し、その無力にして非大衆的で自らの反抗的興奮に驅られてゐる結果、彼等の行動の中にはアナキスト的傾向が成長しつゝさへある。

(ニ) わが労働農民黨——は舊労働農民の戰局的傳統とその苦難なる闘争の中に鍛えたる階級の精神と闘争力との繼承者であり、殆んど全部の組織農民と、未だ満足すべき状態ではないと雖も大衆的基礎をもち重要産業の工場職場に基礎をもつ戰局的労働者の組織及び無産市民の代表的組織體たる借家人同盟並に水平社同人、朝鮮労働者等々の強固なる政治的結合體である。而して労働者農民の同盟を固からしむる爲めに且つ自主的闘争の展開の爲めに絶対に必要なる民主的組織と

組合、等々の經濟的大衆的團體、特に破壊せられたる労働組合、農民組合の擴大強化。

七、労働者、農民の同盟としての我が黨の擴大強化。

八、戦線の戰局的統一。

九、それが爲めには右翼中間の大衆との共同闘争の展開、

非階級的表切幹部の無力化。

十、アナキスト的傾向の克服。

等々。